

# 狭山エリア新聞

【問合せ先】ASA入曾  
 Tel: 04-2959-4055  
 【発行所】狭山エリア新聞編集室  
 Tel: 049-265-1886  
 Fax: 049-265-1887  
 【記事提供】狭山CATV

## 狭山市消防出初式

1月10日(日)、上奥富運動公園で「狭山市消防出初式」が行われました。

新年の年頭にあたり、今年1年の無火災を願って消防関係者が一堂に会し、防災意識を高め、防災活動の自覚と技術の向上を図る事を目的にしています。

訓練には、消防本部、消防署、消防団防火安全協会、女性消防協力隊、自主防災組織から950人近くが参加し



ました。式典では、仲川狭山市長から日頃の関係者の尽力に対する感謝と、本年一年が災害のない平穏な年であることを祈念するといった言葉が訓示として述べられました。

続く表彰式では、退職消防団員の1名に狭山警察署長感謝状、勤続15年の消防団員の家族11名に永年勤続消防団員家族表彰が贈られました。

式典終了後、徒歩分列行進が行われ、消防職員・消防団員・女性消防協力隊・救急ボランティア・自主防災組織が、狭山市立西中学校吹奏楽部の演奏に合わせて行進しました。また、幼年消防クラブからけやき幼稚園の園児190人が参加し、可愛い行進を披露しました。

その他、救助隊員による出動訓練・三連梯子・

基本訓練・体力向上運動の演技を披露、35台の消防車両による行進も行われました。

中高層火災を想定した訓練では、はしご車やロープなどを使用し建物へ進入し、救出及び緊急脱出、また、県の防災航空隊のヘリコプターによる救出訓練が披露され、普段、身近では見ることの出来ない光景に、来場者は目を見張りました。

また会場内では、消防フェアを同時に開催し、消防車両の展示や、防災に対する理解を深めるためのコーナーも設けられました。

そして最後に「今年も災害の少ない年になるように」と願いをこめ消防団、自主防災組織15台による一斉放水を行いました。

この日はおよそ1350人の来場者が訪れました。

## 第22回 年賀状版画展

1月5日から1月22日まで、作品は2010年のものだけでなく、今まで出展されてきた作品併せて約400枚が展示されています。



この版画展は、1988年から始まり毎年行われています。出品は広瀬公民館で活動しているサークル3団体が参加し、地域の交流や、伝統・芸術を地域に広めるために行われています。展示されている

## 第13回 狭山市写真作家協会展



1月13日~17日まで、狭山市市民会館 展示室「第13回狭山市写真作家協会展」が開催されました。

これは、狭山市写真作家協会が主催、狭山市と狭山市教育委員会、狭山市文化団体連合会が後援して行なわれています。

狭山市写真作家協会は、写真美術の振興と市民文化の啓蒙に寄与することを目的として平成9年に発足、現在、会員は31名です。

各個人がサークルなどに属しながら写真の撮影法を学び、年に一回行なわれるこの写真展に向けてそれぞれ好きな場所で写真を撮り、出展しています。

今年も作品の創作にあたり、風景や人物、光や影など様々なジャンルから個々の感性で「一瞬」を切り取り、その想いをプリント上に表現しました。

今回出展された作品は52点で、会場では会員が来場者に撮影場所や撮影の際の苦労話などをしながら一緒に見学する場面も見られました。

また、同協会では3年前から狭山市と友好交流都市である新潟県津南町と写真を通じての交流を図っており、今回も「フォト津南作品」として、津南町から5点出展されました。

## 第29回 新春かきぞめ・もちつき大会



1月5日(火)、中央公民館で「第29回 新春かきぞめ・もちつき大会」が開催されました。

子ども達にお正月ならではの行事を体験してもらおうと毎年行われています。

主催は中央公民館、対象は市内在住・在学の小学生・高校生です。

書き初めには小学1年生~中学1年生の子供達60人が参加し、もちつき大会には、保護者など約30人を含め合計で約90人が参加しました。

書初めの字句の指定はなく、教科で指定されたものや個々で選んだものなど、思い思いの字を用紙に認め、納得のいく作品ができるまで、真剣な表情で筆を握っていました。

保護者も多く訪れ、子供にアドバイスを送る等、親子で真剣な表情を見せ、会場内は熱気につつまれていました。提出された作品は、1月6日から9日まで中

央公民館1階グリーンホールで展示されました。

書き初めが終わると、もちつき大会が行われ、中央公民館事業運営委員や体育部、文化部の正・副部長が前日から用意をした豚汁や、当日、朝から準備していたもちがふるまわれました。さらに子供達ももちつきを体験し、うすの前には行列ができていました。

大人達の指導を受け、子供用のきねを使い一生懸命に餅をつきました。

参加した子ども達は書き初めの面持ちと変わり、笑顔でつきたてのもちを楽しみました。

警察・自治体などの機関に許可を得て行われました。川の土手には聞きつけた人達が訪れ、珍しい冬の火花を楽しみました。

## 入間川河川敷で打ち上げ花火



昨年12月31日、入間川河川敷で午後6時から10分間、3~5号の打ち上げ花火100発が打ち上げられました。

これは市内在住の堀部さんの息子さん、長野県飯田市の花火会社から勤めていることか

ら少し早めのカウントダウンをと自作の花火を含め、個人で打ち上げたものです。

勤め先の長野県では個人で花火を打ち上げることが珍しくないとのことですが、狭山市では初の試みで、消防・